

第一部 地域まちづくりについて

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(1) 震生湖誕生100周年に向けて	テーマ説明	震生湖誕生100周年に向けて～周辺整備（トイレ、水道含む）今後の構想	<p>震生湖は誕生して95年が経過し、2023年には百周年を迎える。豊かな里山と優れた自然環境に恵まれ、秦野盆地と丹沢を一望できる良好な景観を併せ持つ、本市を代表する観光地であり、年間約20万人が訪れている。</p> <p>震生湖の整備としてこれまで、散策路の改修、案内板の更新、四阿(あずまや)の解体、老朽化した遊具等の撤去、トイレの設置を行い、訪れた方が安全な場所で安心して過ごせる空間づくりに取り組んできた。周辺の整備計画については、過去に2度、市としても挑戦したが、当時の社会情勢、財政状況等、また、大きな計画を立てたために関係権利者等との課題があり、計画を保留した経緯がある。現在、総合計画では「水・緑・人が織りなす震生湖周辺の魅力向上」と位置付け、散策路等の整備、湖面環境等の改善を図るという計画になっている。昨年度は、湖畔散策路について中井町と協議し、本市と同様に擬木とロープによる整備を実施した。また、湖畔への進入路周辺の土地について民間事業者から寄付を受けたので、倒木の恐れのある木を伐採した。更に、湖面環境の改善を図るため、湖面脇の駐車場及び売店の土地所有者と協議し、さらに貸しボート事業者からも移転の承諾を得、本年度はその移転に取り組んでいる。</p> <p>今後は、まずはできるだけ自然湖に回復し、維持された状態で後世に引き継いでいくため、中井町と連携して湖周辺の散策路整備や湖面の環境改善に取り組んでいく。具体的に今年度は、貸しボート事業者による売店、栈橋等の撤去、また、足場の悪い湖畔の散策道を中井町と協議の上で改修する予定。併せて、秋の観光シーズンに向け、弁財天広場の下草刈り等を行う。</p> <p>水道は、県道付近の給水区域からポンプアップし、620mの給水管を設備し供給している。</p> <p>トイレは、平成16、17年度に整備、27、28年に洋式化し、現在、女性用が2、男性用が小2と大1、みんなのトイレ1がある。「トイレの数が少ないのでは」との意見を受け調べたところ、事務所等には事務所衛生基準規則で決められているが、観光地には明確な基準が見当たらなかった。そこで、空間調和・衛生工学会が文化会館等に使う算定方法を用いて計算すると、女性用が2.2、男性用が小1.5と大1となり、現状の数で充足していると考えられる。また、トイレは衛生面が重要であり、現在、週5日間の清掃をシルバー人材センターに委託している。</p> <p>今後の構想について観光課として現在持っていないが、2023年の震災後百年に向け、自然湖に戻す取り組みを地道に着々と進めていく。</p>	観光課長

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
<p>(1) 震生湖誕生100周年に向けて</p>	<p>1</p> <p>もうじき震生湖誕生百年を迎えるに当たり、連合会としても2、3年前に震生湖部会を立ち上げた。これまで震生湖に関わる実態を見てきたが、昭和29年頃には寺田寅彦の碑ができたり、観光協会では遠方からの来場者に向けて震生湖周辺のPRをしたり、市役所では観光課を先頭に、多くの方に来て見て楽しんでもらうために頑張ってくれており感謝している。他にも、森林づくり課が林の手入れをボランティアバックアップ事業で、環境保全課は湖の水質保全で、色んな課が携わって震生湖の環境維持に力を注いでいる。</p> <p>一方で市民は、南地区婦人会が昭和25年からずっと清掃活動を、小原自治会が尾根道の草刈りを行っている。また5、6年前から、釣り人たちが声を掛け合って、放置された浮き等の清掃活動を行っており、現在はゴミの無い震生湖になっている。連合会ではこれらの清掃活動をPRしバックアップしている。</p> <p>震生湖は「身近な里山に地震でできた貴重な自然湖」と言える。震災で、帰宅途中だった南小学校の女儿2人が遭難し、その後供養塔が立てられ90年以上供養されていること。寺田寅彦が「山裂けて」と表現したほど、山林や畑が250mに渡って崩落し、南側の川を平らになるほど埋めてしまい、塞き止められた川が湖になったことなどが震災関連と言える。</p> <p>震生湖に対し、市の施策として環境整備やトイレ、散策路の整備、市民による清掃活動の他に、震災後百年に向けて何か新しい取り組みは計画されていたら教えて欲しい。文化財的な面はどうか。</p>	<p>文化財行政を担当する立場から、震生湖を震災遺構として光を当て守り伝えていくことは、南地区の活性化につながると考える。関東大震災百年、湖誕生百年に向け、国の登録記念物として登録できるように準備を図っている。以前、天然記念物の指定に動いたこともあったが、今回の登録記念物は、天然記念物のように現状変更等を厳しく規制して保護するものではなく、活用を前提に緩やかな規制によって、多くの人が価値を共有しながら保護していく制度。市内では昨年10月に、本町地区の曾屋水道遺構が国登録記念物に登録されている。</p> <p>この登録には地権者の同意が必要で、また、登録を行う文化庁や神奈川県、隣接する中井町との調整、まちづくり委員会を初め自治会の方々の理解を得ながら進めなければならない。今年8月に県職員と共に文化庁を訪れ事前調整を行い、10月には文化庁の調査員が現地を確認に来る予定。地権者や関係者への丁寧な説明と協議に取り組みたいと考えているので、ぜひ震生湖が国登録記念物になるように皆さんのご理解とご協力をお願いします。</p> <p>(次項の質問とまとめて回答)</p>	<p>生涯学習文化振興課長</p>

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(1) 震生湖誕生100周年に向けて	2	<p>5年後に震生湖誕生百年を迎えるが、5年はあっという間に過ぎるので、震災遺構として文化財登録できるように積極的な動きをして欲しい。震生湖は日本で一番新しい自然湖で、文化財になるよう窓口を一本化して欲しい。90周年の時には、私たち七福神の会で慰霊祭、式典、記念講演等を行い、自治連の会長や市長にも出席いただいた経緯がある。現在、京都大学防災研究所の調査が入っており、非常に注目されている場所で文化財に合致するという話も聞いている。</p>	(前項の質問とまとめて回答)	生涯学習文化振興課長
		<p>売店、棧橋の撤去について、期限はいつまで、最終的にどのような構想で進めるのか。棧橋が無くなれば東側の山沿いの散策路が無くなるが、その点も含めて回答いただきたい。</p>	<p>棧橋の撤去については、まず、湖の真ん中にある太鼓橋は中井町が架けたもので撤去されない。釣り客用の棧橋とボート事業者の売店は、10月末を目途に撤去される予定。 散策道については、中井町と協議し、太鼓橋から西側はお互いにもう少しずつ整備すれば一周繋がるようになる。しかし、太鼓橋東側の小さい方は殆どが中井町の土地で、何とか一周できるように、7月にも中井町の担当者と話し合いを行い、継続して検討して欲しいとお願いしている。売店跡地も広いので、撤去後に陽の入り方等を見た上で次の整備を検討したい。</p>	観光課長
		<p>生涯学習課が登録に向けて頑張っていることは大変嬉しい。このような前向きな回答は10年ぶりにももらった。売店跡地の整備が進められ、記念物登録への準備もされるという。登録されたときは、大々的は「国登録記念物」と看板もできると思う。 まちづくりには、市民主体、市役所主導の他に、両者の共同作業で行う部分があると思う。清掃活動等地元でできる事は一生懸命やっているし、一方で、トイレ等の整備や中井町との共同作業等については行政にやっていただいている。しかし、両者が議論する場がなかなか無い。また、市役所の担当課も生涯学習課、森林づくり課、環境保全課、観光課と窓口が非常に多い。そこで、震生湖について、市民と市と一緒に協議する場をぜひ持ってほしい。震生湖を皆が利用できるのは地権者の協力があることだし、これから生涯学習課が登録に向けて進めるのにも地主の協力が必要だ。震生湖誕生百年、さらにその先を見込んで、市民と一緒に協議する場を検討して欲しい。そして、震生湖に関わるそれぞれの窓口をどこか一か所に整理して欲しい。</p>	【要望】	

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(1) 震生湖誕生100周年に向けて	3	先ほど清掃について話が出たが、私たち婦人会は、昭和25年頃から歴代の会長が引き継いで、月1回清掃ボランティアを行っている。先日は連合会から連絡をもらい、2回ほど同じ日に行ったが、これからもまちづくりと協力していきたいと思っている。歴代の会長から50年以上続いており、人が少なくなってきたが頑張って毎月清掃しているので、そのことを皆さんに少しでも知ってもらいたく、ちょうど話が出たので付け加えさせていただいた。	ありがとうございます。今の婦人会の活動については、南社協だよりで全会員に紹介させていただいているので、ぜひまたご覧いただきたい。	連合副会長
	4	弁天様のトイレを管理しており、7日17日27日に定期的に清掃している。年間20万人が訪れるとのことだが、震生湖周辺にはトイレが1か所しか無い。観光客の多くは渋沢方面に向かい、頭高山周辺まで大人の足で1時間ほどかかるが、その間にはトイレが無い。これでは、これから多くの観光客を迎えるには不相当だと思う。以前、簡易トイレを設置したが、非常に汚く、悪臭もして使えなかった。お金のかかることで大変だとは思いますが、時々藪の中から下半身を出した女性が出てくるような状況が続いていることを理解して欲しい。	【要望】	
(2) 通学路の安全点検	テーマ説明		<p>歩道の整備等は建設管理課、防犯対策はくらし安全課、防災関係は防災課と、担当は複数課に渡るが、通学路として学校教育課が所轄している。日頃より皆様には子どもたちの見守り活動にご尽力いただいております、行政として、地域の皆様にサポートできるように環境整備等様々な取り組みを行っている。</p> <p>交通安全面では、交通指導員の協力を得て、交通安全の日を中心に安全指導や見守り、青色回転灯を設置したパトロール車による巡回等を行っている。安全確保のための環境整備は、学校や保護者による安全点検の結果や、市政懇談会等での地域の皆様からの指摘、意見を踏まえ、「歩行者優先、人優先」の考えのもと改善に努めている。</p> <p>防犯面では、地域防犯専門員や自治会の協力を得て、巡回パトロールを行っている。また、自治会と連携した防犯灯の設置、駅周辺等の防犯カメラ整備にも取り組んでいる。</p> <p>防災面では、今年6月の大阪府北部地震を受け、市内全ての通学路を対象に緊急調査を行った。その結果、適正管理されているものも含め3167件のブロック塀が確認され、その内ひび割れや傾き等で危険度が高いと判断した347件について、建築職の職員を中心に金属探知機等を用いて個別の訪問調査を行った。しかしブロック塀の撤去や回収については、所有者の方にお問い合わせする立場にあるので、引き続き情報提供等に努めながら、通学路の安全確保に努める。</p>	学校教育課長

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(2) 通学路の安全点検	5	ブロック塀調査の結果、市内の小中22校の危険度ワースト順位はどのようなか。またブロック塀の改修状況について、行政所有のものや一般市民所有のもの、詳しく教えて欲しい。	市内の学校施設では5か所にブロック塀が確認され、現行法には適さないものと適法なもの全ての改修工事を行う。他の公共施設についても、現状を確認しながら順次改善に努めている。一般市民所有のものについては、防災課を中心に、まずは啓発をし、順次取り組みをお願いしている。危険度の高い347件については、戸別訪問して補助金制度等の情報を提供し、希望者には再度職員が訪問するなど連携して取り組みに当たっている。	学校教育課長
(3) 秦野赤十字病院等の現状と病院、介護施設	テーマ説明		<p>秦野赤十字病院は平成14年に現在の場所に移転し、16年が経過した。昨年3月に田中院長(消化器内科専門)が就任した際、中期的構想のグランドデザインを策定し運営に取り組んでいる。現在、内科、外科、整形外科、泌尿器科等16の診療科があり、33名の常勤医師を中心に、市民病院的な役割を果たすため地域医療の推進に取り組んでいる。昨年4月には糖尿病専門医が着任し、教育入院を含めた糖尿病の管理ができるようになった。また、消化器内科医師の増員により救急医療体制も強化されている。</p> <p>本市の重要な課題である少子化対策や定住化促進を図る上で、産婦人科や小児科は必要不可欠な診療科であり、現在、産婦人科では非常勤医師4名により分娩以外の外来診療を、小児科では常勤医師1名を中心に外来診療と乳幼児健診等を行っている。</p> <p>分娩業務再開に向けて、昨年度は、神奈川県を中心に大学の医局に財政的支援をして産婦人科医師の派遣を受けやすくする取り組みを進めたが実現に至らなかった。現在、市長のトップマネジメントにより、様々な大学医局の代表者と顔の見える関係を築き、事態の打開に努めている。また、当事者である秦野赤十字病院から院長、副院長等の幹部が、秦野市からは市長、副市長、関係職員が出席しこれまでに4回協議を行ない、可能性のある大学医局への働きかけを今現在行っている。病院と市が取り組むべき医師確保策を共有し、施策の実現に向けて取り組んでいきたい。</p> <p>他の病院、介護施設、医院等との連携については、医師会との連携を通し、市民健康診査、特定健康診査、各種がん検診等の成人健康診査に協力してもらっている。また、休日夜間急患診療所など一次救急医療の担い手として市内病院、各診療所が機能している。</p> <p>少子高齢化が進み在宅医療のニーズが高まる中、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活できるように、在宅医療介護推進連携会議等を組織し、在宅医療、在宅介護サービス提供の体制構築を進めている。</p>	健康づくり課長

	説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(3) 秦野赤十字病院の現状と病院、介護施設、 病院等の連携強化	6 秦野赤十字病院の駐車場を見ると、車の台数が以前より少なく、市民病院の位置づけにある秦野赤十字病院を、住民が利用していないようだ。逆に言えば、利用しにくい環境にあるのではないか。医療、介護、地域のケアに無くてはならない中核病院の赤十字病院が、もっと利用しやすいものになるように、診療科の問題や分娩の問題等に対して、役所としてどのように動いているのか。	平成14年の移転開設当初は外来患者数が年間15、6万人程度だったが、昨年度は約6万人で、発言のような状況が散見される。16の診療科のうち産婦人科や小児科、血液内科などの診療科でも常勤医師の数が5年前に比べ7、8名程減っており、やはり病院の活性化を図るためには、診療科の充実と医師の確保が重要と思う。特に産科、小児科は他の診療科と連携するところがあり、また救急病院には麻酔科、外科の充実が必要になる。現在、市として、病院の幹部と一緒に診療科の立て直しについて協議し取り組んでいる。	健康づくり課長
	7 現在、日赤の赤字は7、8億あると聞く。分娩は比較的収益が高く年間約700件あったものが無くなり、職員も擲揄していると思う。事業の衰退とともに医師、職員の数も減少し、対策を設けないと最悪のケースもあり得る。市長も公約に上げていたが、色々なカードを使い知恵を絞ってほしい。 ① 県、市、日赤、大学との四者協議が進めていくと、前市長から聞いているが、現状は何がどこまで進んでいるのか。 ② 日赤との協議が、8月22日に1回目、9月に1回行ったようだが、その内容はどのようなか。具体的な話は出ているのか。 ③ 市民病院的な位置づけとのことだが、計画的な財政支援は検討するのだろうか。しないとすれば、日赤とのギャップが生じるのではないか。 ④ 日赤の広域医療体制はどうなっているのか。数年前から負のスパイラルが続いており、楽観視はできないと思う。	① 四者協議の状況ということだが、四者協議は、神奈川県、日赤神奈川県支部、秦野赤十字病院、秦野市の四者で、分娩業務再開実現のためにスタートし、平成28年度に3回、昨年度1回開催した。分娩業務再開に向けては、新たに秦野赤十字病院と秦野市の二者協議による取り組みがあり、そこで提案や課題が出たときに四者協議においてさらに協議することを目的としている。今年度は、病院の開設者が当初の「日赤神奈川県支部」から「日本赤十字社本社」に変わったため、まずは市と病院が協議を重ねて情報共有し、その後に県支部も加えて開催したいと考えている。 ② 日赤との協議については、日赤が市や市議会に対して診療科実績や財務状況等の情報を開示する「運営協議会」を年2回行っているが、これとは別に、大学医局から医師の派遣を受けるための協議を今年度4回行い、現在都内と県内の医科大学に対して、顔の見える関係性を築きながらアプローチしているという状況である。 ③ 日赤病院の財政状況は決して良くない。日本赤十字社では、国内病院92院の中の19院を重点支援病院とし、経営状況全体について日本赤十字社本社が直接指導しており、その中の一つが秦野赤十字病院である。そのような中、どのタイミングで財政支援を行うことが分娩再開に向けて効果的か、病院との協議で検討している。 ④ 秦野市は、伊勢原市、平塚市、大磯町、二宮町と同じ湘南西部ブロックに入り、東海大学病院が基幹病院として3次救急を扱っている。日赤は2次救急として、市内の神奈川病院や八木病院等と連携しながら、特に秦野市の内科及び外科の救急医療において中心的な役割を果たしている。	健康づくり課長

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
(3) 秦野赤十字病院の現状と病院、介護施設、医院等の連携強化	8	南が丘は丘の上にあって老人も増えており、近くにある赤十字病院を利用させてもらっている。年1回赤十字に寄付を行っており、春に説明会があった際、住民の方は「赤十字がいろんな問題を起してる中、この寄付金は直接秦野赤十字病院に使いたい」と言っていた。寄付金が世界中で使われることは知っており、住民のエゴかもしれないが、今の病院の状況を考えると、このお金は直接秦野赤十字病院に使って欲しいというのが率直な思いであり、本当に切実な問題だということを理解して欲しい。	【意見】	

第二部 市政全般について

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	9	秦野はこれまで車社会中心にまちづくりがされてきたようだが、これからは自転車で安全に移動できる街に作って欲しい。すぐには出来ないとは思いますが、そのような方向で進めて欲しい。	【要望】	
	10	防災無線が聞こえない。公民館の近くでは聞き取れるが、自宅では窓を開けても聞こえない。防災無線が設置されたのは大分以前のことだと思うが、その後開発等で家が建て込み、街の状況も変わっている。実態を調査し、見直しをお願いしたい。	【要望】	
	11	秦野は緑を大切にしてきたと言うが、街並みの中に樹木が見られない。公民館にあった大きな木も切られ、近所にあった樹齢百年の銀杏の木も、市の指定を受けた後に所有者によって切られてしまった。とても良い制度だと思っていたが、市は指定した後に、その制度は現在どのようになっているのか。 駅前等にはきれいな樹木があって良いと思う。震生湖に行くこともあるが、市街地にも大きくない低木の樹木を増やすまちづくりをして欲しい。	【要望】	

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	12	<p>臭気対策委員をしているが、市長が替わって非常にいい状況になった。今泉堆肥組合とどのような相談をしたのか、公開できるようなら公開して欲しい。</p> <p>8年間委員をしているが、いつも、問題を提示するとしばらくは沈静化する。今回も、8月くらいまでは非常に良い状態だったが、9月に入りまた去年並みに戻りつつある。このことをよく調査して欲しい。</p> <p>先ほどの案件で震生湖百年に向けて周辺にトイレを、との話が出たが、その前にこの悪臭問題を解決してほしい。以前、遊歩道の時にも問題提起したが、あまり成果が上がっていない。今も臭気が増えつつあり、昨年並みに常在化している。せめて今年6月頃のレベルにしておかないと、百周年に向かって色々な提案をしても、うまくいかないと思う。</p> <p>震生湖への観光客のリポート数はどのくらいか。観光客が鼻を塞いで「臭い」と言っている声が我々には聞こえるが、市には届いていないのか。今後の対策があったら教えて欲しい。</p>	<p>リポートの数は把握していない。観光客入込調査は実施しているが、何回目か等のアンケートは実施していないため具体的な数は分からないが、釣り客はほとんどはリピーターだと思う。</p> <p>また、私が着任した4月以降で、ハイカーから「臭い」という意見は届いていない。</p>	観光課長
		<p>(当日、所管部局の出席が無かったため、政策部長において回答) 神奈川県と畜産農家の協力に対策を実施しており、質問の通り臭気レベルが大分下がっていると思う。県と協力し、堆肥化施設の入り口に噴霧装置を設置し、ノズルから噴霧されるミストで臭気を捉え、臭気の飛散防止に努めるよう対策を実施している。農産課が堆肥化施設の臭気測定をし状況を注視していると聞いており、御意見の内容は担当課に伝える。</p>	政策部長	
	13	<p>現在、旧パチンコ西武ビルの解体工事が行われているが、この開発行為について市が把握している内容を教えて欲しい。また、解体工事に対して市はどのような規制や指導を行っているのか。</p> <p>ハイタウンに住んでおり隣から毎日見ているが、まだ足場を組み終えていない状況だ。解体業者の事前の説明会では、先に駐車場を壊した所に重機を搬入し、ビルの最上部に上げて順々に解体作業を進めるとのことだった。その喰い違いをはっきりさせて欲しい。</p> <p>また、跡地がどうなるかを皆さん心配している。駅周辺には飲み屋しかなく、主婦層からはおしゃれな喫茶店や食事できる場所を求める声も多く聞く。秦野の中心地として、また震生湖等に多くの観光客の訪れる場所として、先を見据えて市がきちんと整備してほしい。</p>	<p>老朽化のためビルの所有者が解体を決め、9月から工事に入った。まずはアスベストの解体撤去を9月30日までに行う予定だが、既に終了(9月29日現在)していると聞いている。</p> <p>環境保全課に対し、結果を組回覧してほしいとの要求があったと聞いており、準備をしているが、そのやり方については担当課に確認したいと思っている。また、業者に対しても、うちの方からお伝える。</p> <p>西武ビル全体の解体は来年4月末までの計画だが、それ以降どうするかについて要望があるなら、市が間に入って伝えることもできる。</p> <p>この件については、説明会を自治会単位でやっているのではないかと。</p>	<p>政策部長</p> <p>市長</p>

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	13	<p>アスベストに関する事が一番の問題なのだが、このことについての説明会も市からの説明もない。市役所に問い合わせたが「そのうちに説明する」との答えだった。現場の看板には「石綿除去工事」と書いてあるので、アスベストが使われていることは間違いない。この問題について説明して欲しい。</p>	<p>石綿のレベルは、1～3のうちのレベル3。先ほど「アスベスト工事は終わったと聞いた」と言ったが、実際は、8月24日に、神奈川県の特定期粉塵排出作業に伴う立ち入りに、市の環境保全課の職員が同行して、養生等に問題が無いことを確認し、解体業者から提出された環境測定値に問題が無かったということで、このことに関して、8月25日に住民説明会で説明をしたとのこと。実際の解体に伴う測定結果については、必要があれば住民説明会のような形で伝えるよう担当課に話したいと思っている。</p>	政策部長
			<p>週明けに職員が自治会長宅を訪問し状況を説明するようにする。その結果、必要に応じて説明会の開催や開示の可否について相談させてもらう。</p>	市長
	14	<p>青少年育成部会で活動しているが、子ども会の減少が問題になっている。子ども会は社会教育の一つであり、南地区にも子どもたちはたくさんいるが、3つくらいの自治会しか活動していない。子ども会に限らず、社会教育の育成について自主的な参加を促す方策を市が持っていたら、知恵を貸して欲しい。南が丘では新しい形の子ども会が発足し昨年の群馬大会でも発表しているが、生涯学習と社会教育が強く結びつく時代に、古くからある子ども会がどのようにリンクするかが課題だと思う。</p> <p>自治会内で子ども会を世話する人が減っていることもあるが、親自身が団体との関わりを嫌い、大人が子供を面倒見ると意識が減少していると感じる。地域のボランティアに協力してもらっているが、それも限られた人数でやっている。西ではもう子ども会はゼロだと聞いているが、今後、市の育成課ではどのように調整していくのか、我々も勉強する必要がある。</p>	<p>子ども会の問題は、市としても深刻な課題と捉えている。少子化や共働き家庭の増加に加え、これまで地域の中で面倒を見てくれていた世代が忙しくなっている状況がある。子ども会の減少については、「こうすれば解決する」といった易しい問題ではないと考え、こども育成課でも、まずは子ども会の方たちに話を聞き、解決策を探りたいと思っている。また、他市町の状況も調査し、今の世代に合った新しい子ども会の形を考えていきたい。</p>	こども健康部長
			<p>社会教育、生涯学習の立場から。南が丘地区には子ども会組織が無いため、「元気っこクラブ」という組織を立ち上げ、南が丘公民館が事務局を行っている。この活動は、地域の多くの方々の尽力があってできているものであり、優良事例として全国の公民館職員が集まる大会で発表した。南地区では、既存の3つの子ども会役員と意見交換しながら、今後の方策を検討したい。</p>	生涯学習文化振興課長
			<p>力強い回答にありがたく感じた。南が丘公民館の、社会教育全体的に考えるやり方はとても勉強になり、南地区でも同様のものを作りたい考えと捉えた。全国には南が丘の「元気っこ子ども会」の他にも色々事例があり、学校との連携にも注力する必要があると思うので、協力をお願いしたい。</p>	【要望】

		説明項目/質問・要望等内容	当日の回答	回答者
第二部 市政全般について	15	<p>① 10月13日小田原で全国報徳サミットが開催されるが、私が知る限り、全国の行政できちんとした協議会が無いのは秦野だけだ。秦野からも偉人が二人（草山貞胤ら）出ている。今、小学校でも道徳に力を入れているので、ぜひ、「秦野報徳研究会」等の名称で立ち上げて欲しい。</p> <p>② 2020年に向け担当課は出来ているが、具体的に何を行おうとしているのか。我々は、植樹等を行おうと草山宮司と一緒に考えている。</p> <p>③ 新東名の用地は目途が付いたのか。全体で15haと聞いているが、準備組合や本組合の意向、用途の変更等、32年度中の開通に向け、しっかりした西の玄関口になるようにお願いしたい。</p> <p>④ 小田急4駅の賑わいの創出について。ハード面は概ね終わったが、いかに人を呼び込むか、ソフト面で知恵を絞ってしっかりやって欲しい。</p> <p>⑤ 稲荷遺跡が出土し、戸川、菩提、蓑毛、柳川から2万年前のものも出ている。これら沢山の文化財を今後どうするのか。古墳展示館の建替えも含めた保管場所の検討、また、観光の材料としてルートを検討するなど考えて欲しい。</p>	【意見・要望】	